

万円（前年対比1.8%減）

# 「インター跡地を の里」づくりへ

3月定例会は、4日から21日まで開かれ、平成20年度当初予算、19年度各会計補正予算、条例改正など69議案と議員提出の意見書1件の70案件をそれぞれ原案のとおり可決しました。

## 平成20年度予算編成方針

### ＝財政基盤の確立を＝

#### 要旨

本町におきましては、平成19年度をもって、普通交付税及び合併特例債を除くすべての合併に伴う特例措置が終了となり、今後は通常歳入に見合う予算編成を強いられることとなりました。自主財源の確保が重要な課題となり、町民各位にとつて非常に厳しい予算となりましたが、少しでも町の将来へ展望を持てるよう、新規事業も織り交ぜながら事業の継続に努力した編成を行いました。

また「フアンドン事業」や限界集落対策など魅力ある生活拠点づくりに努めます。上下水道施設・衛生施設の充実を図ります。防災面では屯所整備など消防設備の充実を図ります。農村公園整備など地域コミュニティの有効活用を図ります。

#### ②保健・医療・福祉の充実 したまちづくり

後期高齢者医療制度実施に伴う特別会計の設置、「次世代育成支援行動計画」「食育推進計画」の策定、子どもインフルエンザ対策、

「神石高原こだわり牛乳」の学校給食補助、県立神石三和病院対策、井関地区総合開発事業の今年度着手な

ど一層の地域福祉・保健・医療制度の充実を図ります。

#### ③自然と歴史を生かした教育・文化のまちづくり

スクールバスの更新、町内全中学校へのAED配備、小中連携教育の推進など学力の向上・教育の充実。

中央公民館長の配置、「教養立町」を目指して読書の推進、など取り組みます。

#### ④活力ある産業と交流のまちづくり

主要農産物の一大産地化の加速。強い農業づくり交付金事業などの取り組み、

単独補助金の見直し、和牛の里管理経費予算化、基盤

整備促進などを取り組みます。工場等設置奨励経費の計上など、商工会活動の支援を行います。

#### ⑤交通・情報通信基盤の整備

町道一路線新規着手、県移譲の県道整備、町道整備の継続、「地域公共交通会議」の設置、情報センターシステム・パソコンの更新、三和有線の修理など実施します。

引き続き「迅速・確実・誠実」の姿勢を守りながら「依存財源からの早期脱却」を目指し本年度の町政運営に邁進します。



牧野町長

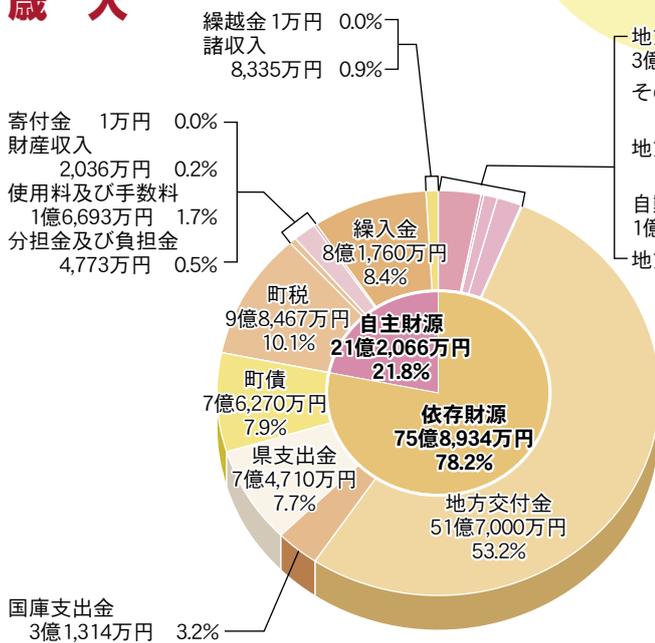


旧広島牛改良センター

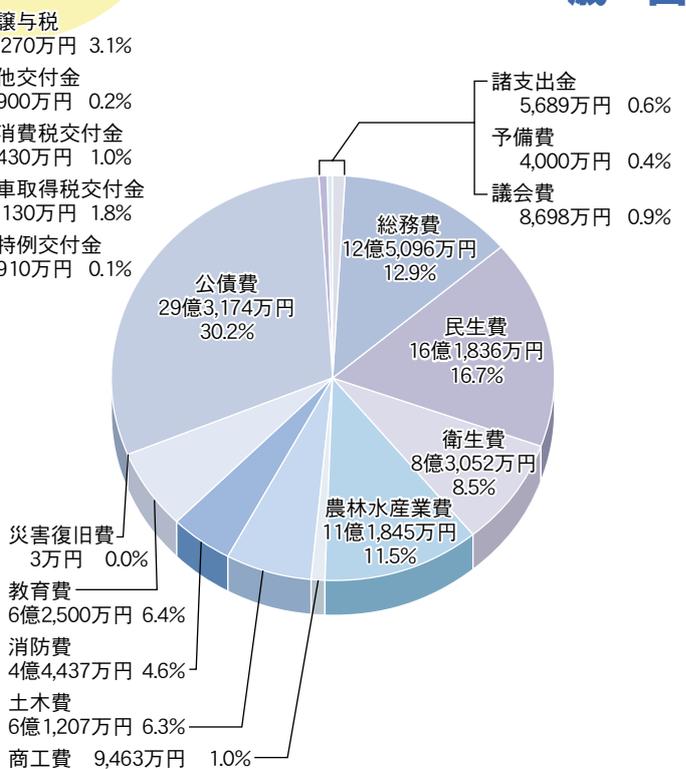
# 97億1,000 広島牛改良セ 「和牛」

## 平成20年度一般会計 当初予算 97億1,000万円

### 歳入



### 歳出



## 平成20年度当初予算案 反対:1 棄権:1 賛成:15 可決!

### 後期高齢者医療特別会計新設される

平成20年度特別会計当初予算		金額 (万円)
国民健康保険特別会計		12億8,390
内 訳	事業勘定	12億7,800
	診療施設勘定	590
後期高齢者医療特別会計		3億 000
老人保健特別会計		2億5,100
介護保険特別会計		16億3,450
内 訳	保険事業勘定	16億1,600
	介護サービス事業勘定	1,850
簡易水道事業特別会計		4億5,390
飲料水供給施設事業特別会計		4,400
農業集落排水事業特別会計		2億3,620
分収育林事業特別会計		10
計		42億 360

### 新たに挑戦

- 長期借入金の繰上返済 3億5,058万円
- ひろしまの森づくり事業 1億4,367万円
- 「井関総合開発事業」調整池 4,300万円
- 「和牛の里」団地開発事業管理経費 144万円
- ふるさとふれあい事業 各地区 800万円→500万円
- 敬老会開催経費 該当者一人当たり 1,000円ふれあい事業に上乗せ